

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報

2011年3月

発行所
社会民主党全国連合
機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表03(3592)7515・振替00140-1-3203
●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

東日本大震災・被災地への救済を

花巻市は被災者受け入れを



液状化によって盛り上げられた市総合体育館・浄化槽



花巻市総合体育館



汚物タンクと浮いた浄化槽

木村県議会議員と花巻市議団(団長・若柳良明市議)は、3月1日、東日本太平洋沿岸を襲った、観測史上最大のマグネチュード9.0の地震と、地震に伴う大津波により壊滅的な被害を受けた被災地への支援対策について協議、震災で住宅を破壊された方々の受け入れ等の救援措置を花巻市に申し入れることとした。同時に花巻市内における被害状況の実態調査をおこない、花巻市総合体育館の浄化槽の損壊、西南中や石鳥谷中学校体育館の被害、市内各地の道路埋没、地割れ等の被害を確認しました。

**総合体育館の改修に
相当の期間が必要**
総合体育館東の浄化槽は地震による液状化によって上り、本道中にする。月かかるかには、月かかるか体育館では、道にしている。月にかけること。総合体育館は、月にかけること。総合体育館は、月にかけること。

に予定されており、な
られます。

四日町でも液状化

日3の市道で市道に入り、大きな市道で入っています。住民は、日に日に「とをています。



大きな段差ができた市道

お知らせ

3月19日(土)午後3時から
花巻市大通り「なはんプラザ」で
開催する予定でした

社民党時局講演会」は

延期することと致しましたので
お知らせいたします。
開催時期は追ってお知らせ
いたします。

市民生活に広がる不安

ガソリン・食料の生活物資不足
バス・JR 不通・通勤の足確保は

社民党花巻総支部(代表 木村幸弘)県議会議員は、東日本大震災を受け、14日午後6時から、緊急常任幹事会を開催しました。
木村代表は、会議冒頭に、今回の大震災によって亡くなられた方、そのご家族の方々に哀悼の意を表するとともに、いまだなお行方不明となっている家族、知人、友人の安否を気遣われている多くの皆さんにお見舞いを申し上げ、今、比較的被害の少なかった私たちが出来る限りのことを尽くして行きましょう。」と挨拶しました。
会議では、現在の選挙戦の取り組みは棚上げし、当面、党として震災対策に重点をおくことを確認しました。

被災者の方の 受け入れ措置を

壊滅的な被害を受けた釜石から、親戚を頼って花巻にいられている方もいます。また、すでに「なはんプラザ」においても、被災者の受け入れを始めています。

木村県議と花巻市議団は、これらの状況を調査しながら、関係自治体・岩手県当局と連携をとり、花巻市に震災被害者の方々の早期受け入れ態勢を取られるよう要請することとしました。

一方、市内においても、この地震による被害は各地において建物、道路に発生しています。さらに、ガソリン、灯油、食料品、日常生活用品の不足があらわれています。特に、ガソリンが不足し、買い求める市民が毎日長蛇の列をつくっています。バスやJRの公共交通機関もストップ、通勤の足も奪われています。



野田地区のガソリン求める列



花城町から吹張町・上町へ長蛇の列



西南中学校体育館・天井を見上げる調査団



天井パネルの落下状況



卒業式準備万端のところ



花巻市体育館に
延べ600人が避難
日の地震発生当日から、花巻市の民の方々は、
となった市体をかける木村
された方に、のラン
県議は、のさん。

